

鉄骨梁・コンクリートスラブ接合工法 「BR シアコネ」の
適用範囲拡大について

岡部株式会社は、販売中の鉄骨梁・コンクリートスラブ接合工法「BR シアコネ」において、大梁の合成評価及び適用範囲の拡大を可能とする追加評定（一般社団法人日本建築センター：BCJ ST0298-02）を取得しました。

2025年2月17日より、ご採用物件のご検討にて対応を開始します。

本工法は、鋼板に突起状の貫通孔を設けた形状の機械的ずれ止めとして、高剛性、高耐力を実現します。また、現場溶接を行う一般的なスタッドジベルに対して、鉄工所などでの先付溶接が可能であり、スタッド工事の代替として、省力化や工期短縮、現場排出 CO₂ の削減を実現します。さらに、高耐力を活かし、少量の設置枚数で高い合成効果を発揮することができます。

追加評定では、合成梁とする場合の梁の適用範囲を「鉄骨梁せい (H) : 1200mm 以下」に拡大しました。大梁・小梁を問わず、合成梁としての剛性評価が可能となり、構造設計時に曲げ剛性の増大率を効果的に考慮した設計が可能となります。

【価格・納期などのお問合せ】

営業部 営業推進グループ

TEL 03-3621-1611

【技術的なお問合せ】

技術開発部

TEL 03-3624-6201

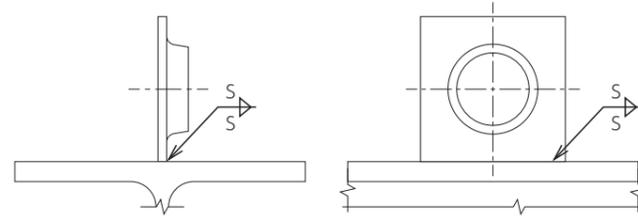
以上

施工および施工管理

BRシアコネの取付に関しては建築工事標準仕様書JASS6 鉄骨工事および鉄骨工事技術指針に従い施工してください。
BRシアコネの所定の性能を発揮させるために必要なすみ肉溶接サイズは以下となります。

●BRシアコネの接合方法（標準仕様）

溶接方法	両面すみ肉溶接
端部処理	回し溶接
すみ肉サイズ（S）	6mm



- ⚠ 鉄骨工事技術指針・工事現場施工編等に従い鉄骨建方時の墜落防止措置を講ずるとともに、梁上歩行時の注意喚起を行ってください。
- ⚠ BRシアコネを吊ピース、建入直しピースとして使用しないでください。

ご使用にあたって

- 本カタログは、建築設計事務所様・建築施工業者様において、BRシアコネを用いた建築物を設計および施工・管理される際に、安全かつ効果的にご使用いただくためのものです。
- 設計・施工にあたっては本カタログ・設計施工マニュアル・標準図等を必ずご一読くださるようお願いいたします。
- 製品仕様、規格等は改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- カタログ内に掲載されている画像は、実物とは外観が多少異なることがありますので、あらかじめご了承ください。

本カタログ内での表記について

特に注意していただきたい事項については、下記の警告表示をしております。

- ⚠：一般的な注意を喚起する表示

免責事項

万一、「BRシアコネ」に問題が発生した場合には、下記の免責事項を踏まえた上で対応させていただきます。

- 本カタログ・標準図・技術資料等に記載した注意事項が行われず発生した不具合
- 本カタログに記載した事項に反した設計・施工方法による不具合
- 標準仕様以外に設計者・施工業者等の使用者が指示した仕様・施工方法に起因する不具合
- 不可抗力（天災・地変・地盤沈下・火災・爆発・騒乱など）により発生した不具合
- 開発・製造・販売時に通常予想される環境下の条件下以外における仕様・保管・輸送等に起因する不具合



岡部株式会社

〒131-8505 東京都墨田区押上2-8-2
TEL.03-3621-1611 FAX.03-3621-1616
<https://www.okabe.co.jp>

北海道支店 011(873)7201	千葉営業部 043(290)0150	関西支店	九州支店 092(624)5871
東北支店	横浜営業部 045(651)1741	大阪兵庫営業部 06(6339)9001	福岡営業部 092(624)5886
仙台営業部 022(288)7161	北関東営業部 0480(25)5656	京滋営業部 0774(43)2200	大分営業部 097(547)8861
盛岡営業部 019(606)3780	特販営業部 03(5637)7196	中四国支店	長崎営業部 095(882)8282
信越支店	名古屋支店	広島営業部 082(254)4811	宮崎営業部 0985(29)4965
新潟営業部 025(287)7711	名古屋営業部 0568(71)6321	岡山営業部 086(273)5672	熊本営業部 092(624)5873
長野営業部 026(217)2445	静岡営業部 054(204)2050	山口営業部 083(902)1452	鹿児島営業部 099(812)8380
東京支店 03(3623)6441	北陸営業部 076(238)7353	山陰営業部 0853(24)9856	沖縄支店 098(856)2700
東京営業部 03(3623)8181		四国営業部 087(841)0023	

●特約店・取扱店

BR Shear Connect

鉄骨梁・コンクリートスラブ接合工法
(バーリングシアコネクタ)

BRシアコネ PAT.P

国土交通大臣認定
建築基準法37条2号の規定に係る認定
MSTL-0547

(一財)日本建築センター
BCJ評定-ST0298-02

New 合成梁設計に対応
鉄骨先付の機械的ずれ止め



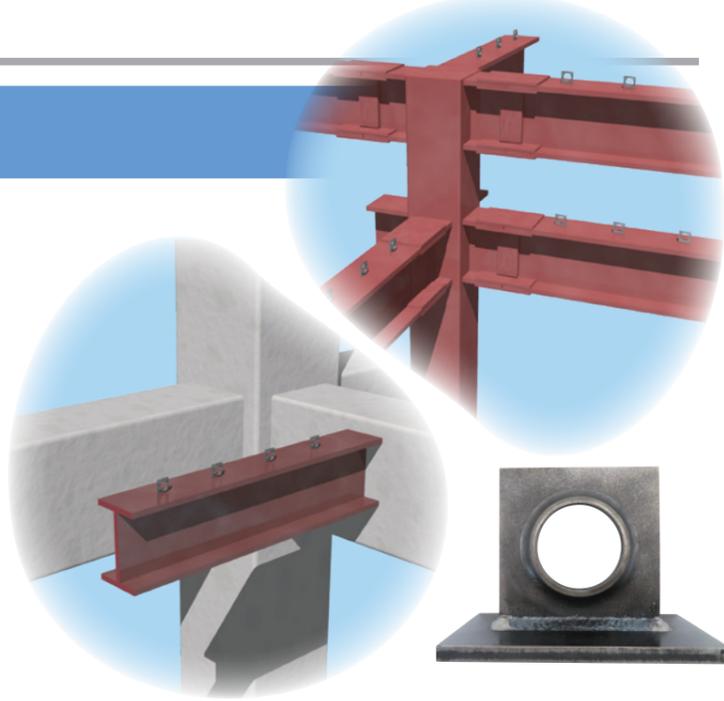
岡部株式会社

スタッド工事に代わる、ずれ止めの新たな選択肢

ずれ止めの新たな提案

BRシアコネが実現

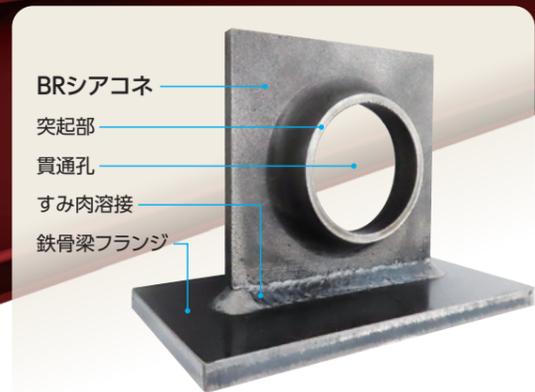
- ◆スタッド数量が少なく
工事の手配が困難な場合
- ◆少量のずれ止めで
合成効果を期待したい場合
- ◆現場で火花が発生する
溶接工事を削減したい場合
- ◆梁上の障害物により
スタッド溶接が困難な場合



合成梁設計(最大1200mm間隔)

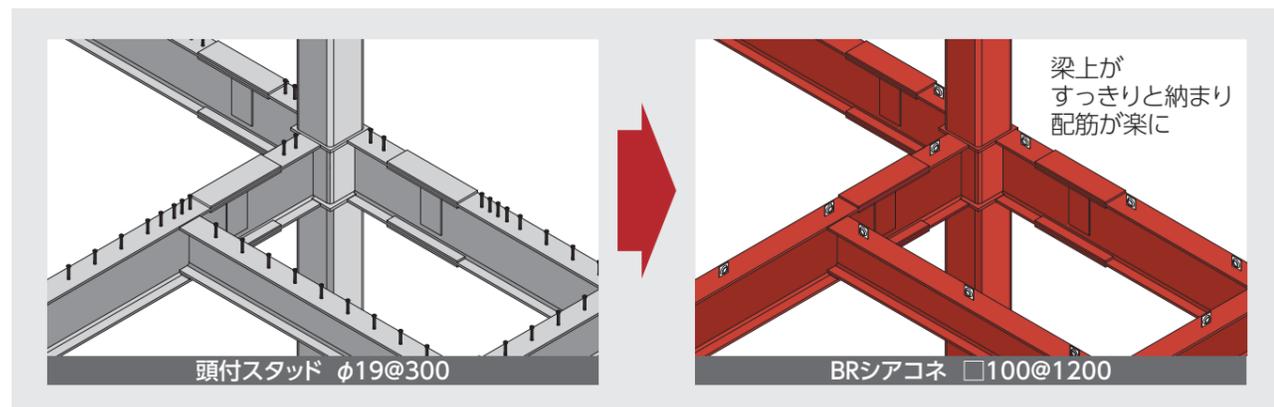
現場省力化工程削減

現場排出CO₂削減



BRシアコネは鋼板の突起部と貫通孔内部のコンクリートが同時にせん断抵抗することで従来のずれ止めと比較して高耐力・高剛性の上、工場溶接が可能なシアコネクタを実現しました。

設計イメージ

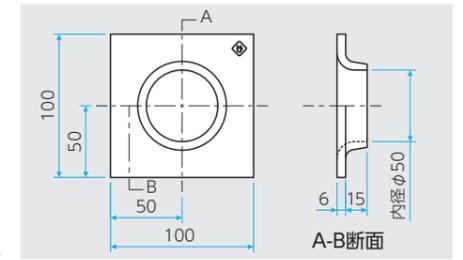
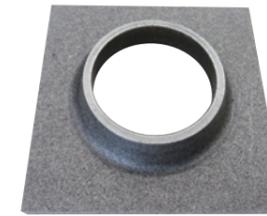


※図は一例です。ご採用の際は設計が必要になります。

製品仕様

バーリング加工と呼ばれる冷間成形加工により突起部を形成した材料認定を取得しているずれ止めです。

鋼材の規格	認定番号	基準強度 (F値)
BRSC-OK400 (SN400B相当)	MSTL-0547	235 N/mm ²
品名	重量	入数
BRSC-100L	0.44kg	30枚



設計方法

設計 ずれ止めとして設計する場合

- 地震時水平力をはじめ、スラブの面内せん断力を梁へ伝達するためのずれ止めとして設計できます。

New 設計 合成梁として設計する場合

- スラブと梁の合成効果を期待し、配置数量に応じた剛度増大率を設定できます。

⚠ 設計方法やBRシアコネの配置に関する制限については、設計施工マニュアル並びに技術資料をご参照ください。

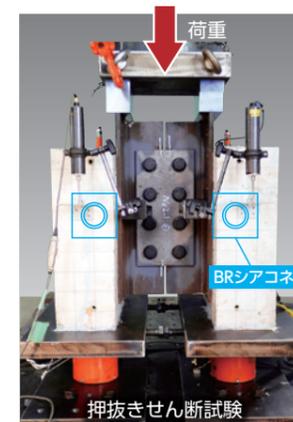
適用範囲

項目	適用部材および部材に関する規定		
共通項目	構造種別	鉄骨梁 (H形鋼、組立H形鋼)	
	鉄骨梁に関する規定	材質	基準強度 440N/mm ² 以下
		鋼種	SS400、SM400、SM490、SM520、SN400、SN490、NSYP345B、NSYP385B、SMA400、SMA490、TMCP325、TMCP355、TMCP385、TMCP440、SA440
	コンクリートに関する規定	コンクリート種別	普通コンクリート
設計基準強度		F _c =18~36 N/mm ²	
スラブに関する規定	粗骨材の最大寸法	20mm、25mm	
	上面かぶり ※1	50mm以上 (※1 BRシアコネの上面かぶり)	
	スラブ厚 ※2	F _c =18:180mm以上 F _c =21~36:150mm以上 (※2 BRシアコネ配置箇所)	
	スラブ鉄筋比	梁の材軸方向と直交する方向0.2%以上	
合成梁設計時	スラブ筋	SD295、SD345、SD390、線径6mm以上の溶接金網	
	合成梁とする場合	鉄骨梁せい H	1200mm以下
		せん断スパン比	5 ≤ L/H ≤ 25 (L:スパン)
スラブの有効厚さ		300mm以下 ※高上げ部を除く平板状のコンクリート厚さ	

⚠ 合成デッキプレートの耐火認定を適用する場合には、デッキプレートメーカーの認定仕様、接合仕様をご確認ください。

⚠ BRシアコネには間隔や配置方法に関する制限等がございます。設計施工マニュアルを参照ください。

構造性能



BRシアコネは、押抜きせん断試験によりずれ止め性能の把握および、BRシアコネを使用した梁の実大曲げ実験により合成梁の曲げ性能の把握を行っています。

